



ダブル・ケアってなに？ 「育児と介護」奮闘中のママから聞く

ダブル・ケアの実態とこれからの支援政策

「ダブル・ケア」とは、子育てと、親や親族の介護や世話を同時にしなければならない状況のことを言います。少子化と高齢化の同時進行が続き、特に、女性の晩婚化で出産年齢が高齢化している現代において、小さい子どもを育てながら親の介護をする世帯が増えることが予測されます。

そこで、ダブル・ケア研究チーム*による研究説明、現在や過去にダブル・ケアに直面した母親たちから聞くダブル・ケアの実態、そして、ダブル・ケアに対する新しい取り組みを紹介し、参加者のみなさんでダブル・ケアへの支援を考える場を作りました。多様な家族や親族を支援する柔軟な発想から、新しい時代の家族政策のあり方を考えましょう。

日時： 2014年11月4日(火) 13:00～16:00

※16:00～16:30 交流会あり

場所： かながわ県民活動サポートセンター 305 会議室

横浜市神奈川区鶴屋町2丁目24-2 (横浜駅西口徒歩4分)

対象： 行政、福祉施設関係者、ダブルケア当事者、関心のある方

費用： 無料

申込： メールまたはお電話で、お名前・所属・電話番号をお知らせください。

ベイ★キッズ編集部(NPO 法人シャーロックホームズ) 担当:アズマ
メール info@baykids.jp 電話 045-324-5033

★お問合せも上記までお気軽にご連絡ください。

地域包括支援センター職員、ケアマネージャーなど、介護の現場に携わる方や、子育て支援の現場で活動される方など、みなさんで一緒にダブルケアについて考えましょう。



※この会は横浜国立大学・相馬直子氏、英国ブリストル大学・山下順子氏による「ダブル・ケア研究プロジェクト」の一環として行うものです。